

平成 30 年 9 月 27 日

お客様各位

日本農薬株式会社

農薬登録のご連絡の件

首記の件、下記について登録されましたのでご連絡致します。

記

1. 新規登録 平成 30 年 9 月 26 日付 (1 件)

(1) ブイゲットフェルテラゼクサロンL 粒剤

登録第 24135 号

有効成分: クロントラニプロール…0.75%、トリフルメゾピリム…0.75%、チアジニル…6.0%

毒性: 毒物劇物に該当せず

危険物区分: -

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロントラニプロールを含む農薬の総使用回数	トリフルメゾピリムを含む農薬の総使用回数	チアジニルを含む農薬の総使用回数
稲(育苗)	いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病 イネスズウムシ イネドオイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ ゴブメイガ	育苗箱 (30×60×3 cm、使用土壌 約 5ℓ) 1 箱当り 50g	緑化期～ 移植当日	1 回	本剤の 所定量を 育苗箱の 上から均 一に散布 する	1 回	1 回	3 回以内 (移植時 までの処 理は 1 回以内、 本田での 散布は 2 回以内)
	内穎褐変病 ニカメイチュウ イネツトムシ フタオビコヤガ		移植当日					

使用上の注意事項

- (1) 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機で移植すること。
- (2) イネ葉が濡れている場合には、散布前に葉に付いている露を払い落としてから薬剤を散布すること。
- (3) 軟弱徒長苗、ムレ苗又は苗の生育が不良な場合には、葉害を生じるおそれがあるので注意すること。
- (4) 本田の整地が不均整な場合は、葉害を生じるおそれがあるので、代かきは丁寧にいき、移植後に田面が露出しないよう注意すること。
- (5) きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布すること。
- (6) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

2. 適用拡大 平成 30 年 9 月 26 日付 (2 件)

(1)日農モスピランSL液剤

登録第 20642 号

〈1〉適用内容の変更

- ①適用病害虫名の追加: てんさい/ヨウムシ、カメノコハムシ(4000 倍)、あずき/マホソクチゾウムシ(2000~4000 倍)
- ②適用病害虫名の変更: ばれいしよ/テントウムシダマシ⇒テントウムシダマシ類
- ③使用方法の表記変更: ばれいしよ、未成熟とうもろこし/無人ヘリコプターによる散布⇒無人航空機による散布

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセチグリドを含む農薬の総使用回数	
あずき	メイガ類	2000 倍	100~300ℓ /10a	収穫 14 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内	
	アブラムシ類 マホソクチゾウムシ	2000~4000 倍						
てんさい	アブラムシ類 テンサイビハムシ ヨウムシ カメノコハムシ	4000 倍	ペーパーポット 1 冊当り 1ℓ (3ℓ/m ²)	収穫 3 日前 まで	1 回	苗床灌注	3 回以内 (苗床灌注 は 1 回以内)	
	テンサイビハムシ	200 倍						
ばれいしよ	テントウムシダマシ類 ナストビハムシ	4000 倍	100~300ℓ /10a	収穫 7 日前 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (植付時の 土壌混和は 1 回以内、植 付後は 3 回 以内)	
	アブラムシ類	2000~6000 倍						25ℓ/10a
		1000 倍						
未成熟 とうもろこし	アブラムシ類	64 倍	100~300ℓ /10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内	
		4000~6000 倍						3.2ℓ/10a

〈2〉注意事項の変更

【変更後】(変更箇所のみ)

- ・本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守ること。
 - 1)散布は散布機種種の散布基準に従って実施すること。
 - 2)散布に当たっては散布機種種に適合した散布装置を使用すること。
 - 3)散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。

(2)日農モスピラン顆粒水溶剤

登録第 22584 号

①適用病害虫名の追加: だいず/マダシクイガ(2000 倍)、セルリー/アザミウマ類(4000 倍)、りんご/コガネムシ類成虫(4000 倍)

②適用病害虫名の変更: ばれいしょ/テントウムシダマシ⇒テントウムシダマシ類

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセチプロトを含む農薬の総使用回数
だいず	アブラムシ類	2000～4000 倍	100～300ℓ /10a	収穫 14 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
	マダシクイガ	2000 倍					
	コナジラミ類 アザミウマ類 フタスジヒメハムシ	4000 倍					
セルリー	アブラムシ類 ナモグリハエ アザミウマ類			収穫 7 日前 まで	2 回以内		2 回以内 (定植時の土壌混 和は 1 回以内)
りんご	アブラムシ類 キンモンハモグリガ キンモンホリガ シクイムシ類 カメムシ類 リンゴワタムシ	2000～4000 倍	200～700ℓ /10a	収穫前日 まで	3 回以内		3 回以内
	カイガラムシ類 モモチョッキリゾウムシ コガネムシ類成虫	4000 倍					
	ケムシ類 キリガ類	2000 倍					
ばれいしょ	ジャガイモガ	2000 倍	100～300ℓ /10a	収穫 7 日前 まで		4 回以内 (植付時の土壌混 和は 1 回以内、植 付後は 3 回以内)	
	テントウムシダマシ類	2000～4000 倍					
	アブラムシ類	2000～6000 倍					

* 注意事項の変更はありません。

以上